

ごあいさつ

6月28日に開催した当社の定時株主総会及び取締役会において代表取締役社長に就任しました濱田隆道でございます。当社の健全な発展そして商品先物業界の隆盛のため全力を尽くす所存でありますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

当社はカウンターパーティー・リスクの遮断、効率的な決済業務の実現等を通じ、商品先物市場の信頼性、効率性を高めることを責務として、これまで業務を遂行してまいりました。

さて、この度、親会社である東京商品取引所と日本取引所グループとの間で、総合取引所の実現に向けた合意がなされ、2020年度上半期を目途に、当社は日本取引所グループ傘下の日本証券クリアリング機構と統合し、商品デリバティブ取引と金融デリバティブ取引のクリアリングを一元的に取り扱う総合的なデリバティブ取引のクリアリングハウスが誕生いたします。これにより、商品先物市場というこれまでの垣根を越え、グローバルに展開する、信頼性の高い、効率的で競争力のあるクリアリングハウスとして新たな出発が展望されております。

一方、足許の課題として、東京商品取引所にて、今秋の取引開始を目標に電力先物取引の上場、そしてエネルギー市場の整備をすべく、主務大臣への認可申請を行っているところです。電力先物取引に対しては、電力会社をはじめとしたエネルギー事業者の関心が高く、市場の信頼性を高め、産業インフラとしての機能を十全に発揮するためにも、そのクリアリングを担う当社の役割は、重要度を増すばかりであり、重責を感じております。

対処すべき諸課題が山積しておりますが、TOCOMグループの一員として、主務省とも密に連携を取りつつ、役職員一丸となって鋭意努力してまいります所存であります。

商品先物市場の隆盛と関係者の皆様のご繁栄をお祈り申し上げ、併せて旧に倍するご支援、ご協力をお願い申し上げます、私の就任の挨拶とさせていただきます。

2019年6月28日
株式会社 日本商品清算機構
代表取締役社長 濱田 隆道